

2021年3月号

L.N.

ライブラリー・ニュース

1-3

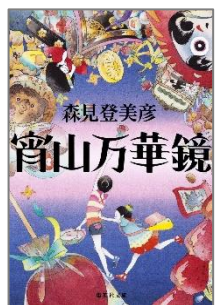
発行 図書委員会 担当 小平・司書



『一九八四（新訳版）』 ジョージ・オーウェル著（ハヤカワ epi 文庫）

ロンドンに住む主人公ウィンストンは歴史を改竄する仕事に就いていた。ある日、彼はオセアニア（旧イギリス）を支配する政党（ビッグブラザー）への反逆行為を働いてしまう。

情報化社会が訪れた今だからこそ読むべき監視社会の怖さを描いた一冊。



『宵山万華鏡』 森見登美彦著（集英社文庫）

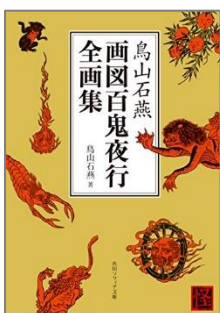
祇園祭の京都。現実と妖しの世界が入り乱れる夜に様々な人々が宵山へ迷い混んでいく。

果たして彼らは宵山の迷宮から抜け出せるのか。



『そして誰もいなくなった』 アガサ・クリスティー著（ハヤカワ文庫）

兵隊島に集められた年齢、職業が異なる男女十人が集められた。彼らの共通点は正体不明の島の主オーエン夫妻から招待された事と、過去に罪を犯した事だった。逃げ場の無い孤島で次々と起こる殺人、犯人は一体誰なのか。



『鳥山石燕 画図百鬼夜行全画集』 鳥山石燕著（角川ソフィア文庫）

江戸時代の絵師鳥山石燕。

現在まで影響を与え続ける彼の妖怪画がまとめられた至極の一冊。